

湖西大学への協定留学（交換留学）月例報告書（3月分）

文化政策学科 2年

留学の準備について

VIZA の取得や授業料寮費の送金、書類の作成など留学までにたくさんの手続きがありました。私は後回しにして慌てて準備することが多かったため余裕を持って準備しなければならなかったと思います。

渡韓初日

私は2月27日に中部国際空港から仁川空港に行きました。到着後30分後に迎えが来るという予定でしたが1時間経っても迎えは来ませんでした。連絡をとって到着から約2時間後なんとかドライバーの方と合流ができて車で寮まで送っていただきました。

寮について

寮は2人部屋を申請していたのですが、手違いで4人部屋でした。料金が違うため差額は返金してもらえるそうです。同部屋の方は全員韓国人で皆さん大変優しくフレンドリーに接してくれます。トイレ、シャワー、洗濯機、乾燥機は共同です。洗濯機、乾燥機を使用する時はそれぞれ現金で1000ウォン（約100円）必要で、クレジット

カードだけでなく現金もある程度持つておく必要がありました。月曜日から木曜日は 22:00 が門限で 22:00 から 23:30 まで学習時間が設けられています。その時間帯に 点呼がありますが、私の部屋には一度しか来たことがありません。同部屋の韓国人 3 人が寮の管理を任されている学生さんで彼らが点呼を行うため私の部屋に点呼はない ようです。また、事前に外泊申請をすれば外泊できるようです。食事は寮の前にある 食堂で月曜日から木曜日まで朝ご飯と夜ご飯を食べることができ、金曜日は朝ごはん だけ食べることができます。お昼ご飯、金曜日の夜から日曜日の夜までのご飯は各自、コ ンビニや近くの飲食店で済ませる必要があります。

授業について

授業は日本で大学の事務の方と KAKAO TALK を通じて連絡を取って初級韓国語の 書く、話す、読む 3 つの授業、専門科目は世界映画史、祭り企画、イベント企画の合 計 6 つの授業をとることにしました。韓国語の授業は他の国から来た外国人と一緒に 受けるという形式で教科書に沿って進められます。基礎から学ぶことができ、自分の レベルに合っているため一つ一つ丁寧に学ぶことができています。先生も非常に優し いです。世界映画史は日本の大学の一般的な講義のような形式でレジュメに沿ってパ ワーポイントを通じて進められます。祭り企画、イベント企画の 2 つはグループワー クによる授業です。まだ本格的にグループ活動はスタートしていませんが、韓国人と

同じグループで活動するので不安があります。

手続きに関して

渡韓してから大変だったのは外国人登録、銀行口座の開設の2つです。書類などは全て事務の方が用意していただけるのですがカラーの証明写真、マイナンバーカードの用意が必要でした。写真に関しては、日本語を勉強している留学バディーのテホさんによるとバスで写真館まで連れて行っていただいて用意することができました。マイナンバーカードは持参していなくてかなり焦りました。しかし、たまたまカードの写真を撮っていて、番号さえわかればいいということだったので無事手続きを終えることができました。

週末の過ごし方について

週末はほとんどの学生が実家に帰るようで非常に静かです。また、学校の近くに飲食店やカフェ、カラオケなどのお店が多数あるものの大変田舎であるため、遊ぶ時はソウルまで行くことが多いです。ソウルへは学校から出ているシャトルバスと電車で片道2時間半、大体4500ウォン（約450円）ほどで行くことができます。KTXという新幹線のようなものを使えば+10000ウォン（約1000円）1時間ほどで行けるようです。

感じたこと

留学から 1 ヶ月ほど経ち感じたことがいくつかあります。1 つ目は韓国的学生さんはほとんどが日本の文化や食べ物、歌が好きで皆さんとても親切です。留学に行く前は韓国人に対してマイナスなイメージを持っていたのですがとても優しいです。布団を各自用意する必要があったのですが、同部屋の方が余っている布団を貸してくれたり、寮のルール、洗濯機乾燥機の使い方、ポータルのログイン方法、学校で使用するアプリなどを質問する前に全て教えてくれたりしました。2 つ目はもう少し韓国語の勉強をしておけばよかったなと感じました。普段の生活や事務の方とのやりとり、3 つの専門科目で苦労することが多いです。もう少し実践的に勉強しておけばよかったと感じます。



バディーと友達



学食